

# おたる 市議会だより

Otaru  
City Council  
Newsletter

第 46 号

発行/小樽市議会 編集/小樽市議会広報編集委員会  
小樽市花園2丁目12番1号 TEL 22-2847 FAX 22-2315

平成24年2月1日発行



議事堂コンサート(平成24年1月6日)

## 平成23年第4回定例会

第4回定例会は12月1日から12月16日までの16日間の会期で開かれ、平成23年度一般会計補正予算など議案20件を可決・同意、議案1件を否決、専決処分報告2件を承認しました。

また、北海道新幹線の建設促進を求める意見書など16件を可決、年金改悪に反対する意見書など6件を否決、東日本大震災により影響を受けた市内経済の回復と更なる活性化に向けた諸施策の実現を求める決議など2件を可決しました。

このほか、第3回定例会で継続審査としていた平成22年度一般会計など17会計の決算議案を認定しました。

補正予算に計上された主な事業費は、要介護高齢者の在宅生活を支えるための24時間対応の定期巡回・随時対応サービス等推進事業費、幼稚園と保育所が一体となった「認定こども園」の施設整備に対する整備事業費補助金、夜間急病センターの移転に向けた同センター建設事業費、市立病院の統合・新築に向けた建設・外構工事ほか、病院建設予定地内の小学校解体などに関する継続費及び債務負担行為などです。

### 議会の動き

- 10月7日 政治資金規正法違反問題に関する調査特別委員会
- 10月14日 政治資金規正法違反問題に関する調査特別委員会
- 11月18日 厚生常任委員会
- 11月29日 市立病院調査特別委員会
- 12月1日 本会議(開会、会期決定、議案上程、提案説明)  
東日本大震災による市内経済への影響に関する調査特別委員会  
政治資金規正法違反問題に関する調査特別委員会  
総務常任委員会
- 5日 本会議(会派代表質問)
- 6日 本会議(会派代表質問、採決)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 予算特別委員会
- 9日 予算特別委員会
- 12日 予算特別委員会
- 13日 各常任委員会
- 14日 学校適正配置等調査特別委員会
- 16日 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

# 自由民主党の主な質問

## 【代表質問】



はまぢま  
濱本 進 議員

### 自治基本条例の制定

自治基本条例制定に向けた、これまでの経過と今後の見通しを示してください。

**答** 策定委員会は、これまで計19回開催し、条例に対する市民の理解を深めるためにワークショップなどを開催しました。今後は、策定委員会から提言を受けた後、庁内会議や議会への素案の報告などを経て、平成25年第2回定例会での条例案の提案に向けて取り組んでいきたいと考えます。

### 日本海側拠点港の選定

**問** 小樽港は伏木富山、京都舞鶴両港と共同で国土交通省の日本海側拠点港に応募し、最高得点を獲得して選定されました。このことは、市長の目指す国際観光都市への一助となると考えますが、見解を伺います。

**答** 東アジア圏の観光客の誘致は、地域経済の活性化に貢献するものと考えており、これらの地域からのクルーズ客船の寄港増を目指して応募した

計画が高い評価を受け、背後観光地のクルーズ拠点として選定されたことは、小樽港をいかに国際観光の推進に勢いがつくものと大変うれしく思います。

### 新築住宅への補助金

**問** 前回の定例会において、住宅リフォーム助成条例案が可決され、24年度から3年間、助成金が支給されますが、この結果を検証した上で、新たに新築住宅への補助金や税の減免を検討してはいかがでしょうか。

**答** 現在、来年度スタートを予定している住宅リフォーム助成制度の詳細について検討している段階であり、今のところ、新築住宅への補助金については考えていません。

### 軽トララック市について

**問** 全国各地でにぎわいづくりの手法として実施されている軽トララック市について、

中心市街地活性化のために本市でも実現可能か、経済団体を交えて検討してはいかがですか。アーケードや十分な道路幅があるサンモール一番街が適地の一つと考えますが、見解を伺います。

**答** にぎわいづくりに有効な手段と認識しており、商工会議所などと話し合いを行いたいと考えます。サンモール一番街商店街は、中心3商店街の中央にも位置し、「軽トラ市」の実現に適した場所と見えますので、商店街と実現の可能性について意見交換したいと考えます。



## 【一般質問】



さかい たかゆき  
酒井 隆行 議員

### 防災について

**問** 地域防災計画によると、本市は、災害時の広報方法の一つとしてFMおたると緊急放送に係る協定を結んでいますが、放送を受信できない銭函、忍路地区などには、どのような対策をとっているのですか。

**答** 災害情報は、速やかに、かつ、的確に伝える必要があります。情報伝わりにくい地域への対策として、現在、手続を進めている携帯電話を利用した「エリアメール」による

伝達のほか、防災行政無線の整備についても、早急に検討していきたいと考えます。

### 銭函風力発電について

**問** 震災以降全国的にクリーンエネルギーが注目されており、銭函地区で計画されている風力発電事業は、正射した事業です。実現に向け事業を進めてほしいと考えますが、現状や見通しについて伺います。

**答** 法改正で風力発電施設がアセスの対象となり、再アセスが必要となるかどうか、さらには、再生可能エネルギー固定価格買取制度の価格等が決まっていないことから、来年12月に予定していた事業の完成は遅れますが、事業者はこれらの動向を注視しながら工事の着手に向け準備を進めています。

### 除雪について

**問** 22年度に市民から寄せられた除雪などの苦情・要望を受け、23年度除雪計画では、どのように対応していますか。

**答** 昨年度に寄せられた苦情・要望等を踏まえ、交差点の雪山の排雪による見通しの確保などに努めるとともに、置き雪対策の試行では、市道の第1種、第2種路線のほか、第3種路線に面している世帯も加え、人力による処理を引き続き実施したいと考えます。



## 【主な質問項目】

- ▽充実した医療体制の実現について
- ▽安全、安心を担保する防災について
- ▽水産都市を実現する第一歩は
- ▽23年度上半期の予算執行状況と下半期の見通しについて
- ▽新年度予算編成について
- ▽教育環境の整備について
- ▽教育予算について
- ▽港湾について
- ▽障がい者雇用について
- ▽堺町の観光バス駐車場について
- ▽学校給食について
- ▽認定こども園について
- ▽夜間急病センターの役割について

# 日本共産党の主な質問

## 【代表質問】



おぬぎ しょうき  
小貫 元 議員

**障がい児放課後児童クラブの延長について**

**問** これまで小学校4年生までとなっていた放課後児童クラブでの障がい児の受入れが6年生まで延長となった経過と実施方法を伺います。

**答** 養護学校に在籍する児童の保護者から延長の要請を受け、同校と協議を進めたところ、受入れに当たって課題となっていた施設・設備面などの諸問題がクリアできることとなったことから、放課後児童クラブ全体の見直しを行い、市内を6ブロックに分け、地区ごとに1校、拠点校を設ける方式を基本に実施方法を検討しています。

**TPP参加による小樽市経済への影響は**

**問** TPP参加により、本市の経済には、どのような影響が予想されますか。

**答** 現段階で国からTPP参加に関する資料等が明らかにされておらず、影響を受ける分野を示すことができないた

め、影響額の試算は困難です。

しかし、TPPへの参加は一般的に関税の全廃を意味しますので、影響は様々な範囲に及ぶものと認識しています。

**銭函保育所は予定どおり改築を**

**問** 桂岡幼稚園が認定こども園を開設することに伴い、保育需要を見極める必要から銭函保育所の改築計画を2年先延ばしにすることです。認定こども園は、園側の裁量で保育に格差が生じかねず、保育に欠ける子への市の義務を果たすためには銭函保育所を計画どおり改築するべきではありませんか。

**答** 銭函保育所の改築計画に当たっては、認定こども園開設後の銭函地区の保育需要の動向を見て、定員・規模を定めていきたいと考えます。



## 【一般質問】



あいや しょうや  
新谷 とし 議員

**放課後児童クラブ土曜日開設の拡大を**

**問** 土曜日の放課後児童クラブについて、量徳小の閉校に伴い、花園小と潮見台小に開設されますが、現在、奥沢小の登録者15人中14人が量徳小を利用していることから、奥沢小での開設も是非検討してほしいと思います。いかがですか。

**答** 基本的には花園小と潮見台小を利用してもらおうことになるとは思います。実現をもう一度調べたいと思います。

**20㎡に達しない世帯の水道料金軽減を**

**問** 水道事業は9年度から純利益を計上していることから、全体の水道料金を上げずに、基本水量の20㎡に達しない世帯の負担軽減をすべきと思いますが、いかがですか。

**答** 22年度は累積欠損金が生じていることや施設の更新等を考慮すると、今後経営の厳しさが増すものと思われ、仮にこれらの世帯の負担軽減を図った場合、新たに負担増となる別の世帯が生じることも想定されるため、全体の水道料金を

上げずに基本料金と基本水量を下げることは難しいと考えます。

**並行在来線はJR経営で**

**問** 並行在来線をJRから経営分離することに同意しなければ、新幹線の札幌延伸は実現しないと言いますが、経営分離されると住民の貴重な交通手段が奪われ、地域の衰退を招くことになりそうです。これを承知で、なお、同意するのですか。

**答** 沿線自治体の経営分離への同意が、新幹線の認可を得ることに重要です。経営分離後に、着工の基本条件の一つであり、まずは札幌延伸の認可を得ることが重要です。経営分離後に、道と沿線自治体で構成する協議会の中で、地域住民の足の確保

に最大限努力していきます。これらのことから札幌延伸に伴う並行在来線の経営分離については、同意したいと考えます。



**福祉灯油を恒例の福祉事業に**

**問** 後志管内19町村のうち13町村で、毎年、福祉灯油を実施していますが、本市で実施できない理由を伺います。

**答** 本市では、灯油価格に加之、他会計から50億円以上の借入れを抱えている財政状況について総合的に検討し、実施を判断しています。

## 【主な質問項目】

- ▽オタモイ海岸の開発は市の責任で
- ▽交付税削減を許さず財源確保を
- ▽石狩湾新港の無駄遣いを許すな
- ▽民間建築物アスベスト除去に補助を
- ▽市営住宅建設計画を早めて
- ▽農地情報提供で新規就農者支援を
- ▽水泳教室の民間委託について
- ▽銭函保育所は計画どおり改築を
- ▽国保証の窓口留め置きはやめよ
- ▽放射性物質検査機器貸与について
- ▽患者に不利益なDPC※導入に反対
- ▽ふれあい見舞金の継続を
- ▽委託給食の市内業者への発注増を
- ▽西陵中学校は存続を
- ▽地域ごとに防災カルテの作成を

※DPC(診断群分類包括支払方式)…入院患者の病名や診療内容に応じて国が定めた1日当たりの定額料金を基本に医療費を計算する方式

# 公明党の主な質問

## 【代表質問】



まつだ ゆうこ  
松田 優子 議員

### 新年度予算編成について

#### 問

新年度予算は、累積赤字が解消されて、初めての編成となりますが、市民からは市民サービスの向上や施設整備などが求められています。予算編成に臨む市長の基本的な考え方を示してください。

#### 答

「真の財政再建」に向けて、引き続き収支改善の取組を実施することとしており、例年どおり大変難しい予算編成作業となりますが、夜間急病センターの移設や小中学校の耐震化など、市民生活の向上に資する施設整備を引き続き進めていきたいと考えます。

### 24時間サービス事業について

#### 問

特別養護老人ホーム入居希望者の自宅待機者を始め、要介護高齢者の在宅生活を支える24時間サービス事業について、内容を示してください。

#### 答

要介護1から5までの方を対象に、24時間ヘルパーや看護師が定期的に巡回し、ケ

アプランに基づいたサービスを提供するもので、緊急コールによる随時対応を行い、重度者の在宅生活に安心感を提供するものです。

### 新市立病院における職員の定数確保について

#### 問

新病院の医業収益を増やすためには、医師を始め、医療スタッフ、看護師、事務職員など有能な人材の確保が重要だと思いますが、どのように取り組んでいくのですか。

#### 答

医師は積極的に大学医局への働きかけやホームページを通じた公募等に力を入れていきます。医療スタッフは定数を精査中であり、看護師はこれまで同様、毎月採用試験を実施します。事務職員は、現在より減員できると考えていますが、医療事務職員はプロパー化を進め、医業収益の増収を図る体制を整えていきます。

### 災害対策に女性の視点を

#### 問

東日本大震災を契機に、避難所での着替えや授乳場所の確保など女性や乳幼児に配慮すべき課題が浮き彫りとなりました。今後、防災対策の検

討に当たり、防災会議に女性の委員枠を一定程度確保してほしいと思いますが、いかがですか。

#### 答

現行の防災会議条例には、性別による規定を設けていませんが、災害対策に女性の視点や意見を反映させることも必要だと思いますので、今後、他都市の例を参考にし、対応を検討していきたいと考えます。

### 市営住宅申込窓口一本化を

#### 問

市営住宅の申込先は「一般世帯向け住宅」と高齢者などを対象とする「特定目的住宅」では窓口が異なり、大変分かりづらいことから、窓口を一本化できませんか。

#### 答

これまでも指定管理者と協議を行ってきましたが、業務量の増大や事務の複雑さなどが問題となり、実施には至っていません。今後、受付業務の簡素化などを図り、次期指定管理者の更新時から窓口の一本化を実施したいと考えます。



## 【一般質問】



あきま とものひろ  
秋元 智憲 議員

### 「買い物弱者」対策を早急に

#### 問

第1回定例会で市長は、「買い物弱者」対策として商店街や関係団体との連携を図り、可能な支援を行いたいと答弁していますが、これまでの取組と現状について伺います。

#### 答

商店街等からは費用負担などが課題で宅配サービスの実現に至っていないと聞いており、今後、商店街団体と話し合いを行う中で、具体的な計画が示されれば、支援を検討したいと考えます。また、食事も宅配サービス事業者が同時に商品も宅配している例を参考に、買物サービスへの拡大に向けて市内事業者にも働きかけたいと考えます。

### 図書館に闘病記文庫の設置を

#### 問

公立図書館などで闘病記文庫を設置するところが増えています。闘病記は、同じ病を抱える人の精神的な支えになるなど、日々安心して暮らすための一助になるものですが、今後、本市でも同文庫を設置できませんか。

#### 答

図書館所蔵の闘病記は200冊程度であり、常時文庫を設置できる状況にはありませんが、一定の期間、コーナーを設け、展示する方法を検討したいと考えます。



## 【主な質問項目】

- ▽小樽市観光振興券の効果について
- ▽観光資源のオタモイ海岸について
- ▽中小企業支援の制度融資について
- ▽生活保護の自立支援について
- ▽放射線の測定について
- ▽安定ヨウ素剤の備蓄と配布について
- ▽教職員の勤務実態調査について
- ▽第5期介護保険料の中間値について
- ▽子宮頸がんワクチン助成について
- ▽次期小樽市健康増進計画について
- ▽市税に係る不申告等の過料について
- ▽介護従事者処遇実態調査について
- ▽家族介護慰労金給付状況について
- ▽空き家等適正管理に関する条例制定を
- ▽消防本部統合計画について

# 民主党・市民連合の主な質問

## 【代表質問】



山口 保議員  
やまぐち たもつ

### 天狗山観光推進に向けた提言

**問** 「天狗山観光推進に向けた提言」の事業が実現すれば、本市観光の大きな活力となります。観光道路の拡幅工事等、本市の事業だけでも先行して実施すれば、相当の効果が期待できますが、見解を伺います。

**答** 今後の観光振興のために市も連携して事業を進めていかなければならないと認識しています。現在、施設を所有する中央バスと事業化の検討に必要な調査等について、事務レベルで協議を行っており、本市が実施する事業はこの結果等を踏まえて判断したいと考えます。

### 奥沢ダム廃止後の整備について

**問** 奥沢水源地は、ダム機能を失っても本市の貴重な歴史資源です。市民との協働でダム跡地に植樹し、花見や紅葉狩りの名所として整備してほしいと思いますが、いかがですか。

**答** ダム以外の水道施設は可能な限り残したいと考え、貯水池内の活用方法に

ついては、今後、検討委員会などを設置し、創設水道であったことを後世に伝えるとともに、市民に親しまれる施設となるよう検討していきたいと考えます。



### 食品分野を成長産業に

**問** 食料品製造業は、観光とリンクさせることで今後の成長が期待されますが、取扱商品は、ローカルの域を出ないことから、プロの商業アドバイザーによる新たな商品の提案などが受けられる相談窓口の設置を検討してはいかがでしょうか。

**答** 本市の高いブランド力をいかすためにも、地元の特性を把握したネットワークの良い支援体制が重要と考え、物産協会などとの連携を強化して、商品開発や営業戦略などを視野に入れた事業を展開できるように、検討を進めたいと考えます。

### 原発と今後のエネルギー政策について

**問** 日本の電力は、企業の自家発電を活用し、供給の仕組みを変えることで原発がなくても賄えるといわれ、火力発電所では、ガスコンバインドサイクルの導入で発電能力やCO2排出量が改善されている中、市長の原発に対する見解を伺います。

**答** 原子力発電は更なる安全対策が求められるべきであり、これまでも国や道、北電に対応を求めてきました。私としても、原子力に過度に依存することがないように、今後、自然エネルギーを含む代替エネルギーなどの導入について積極的に取り組む必要があると考えます。

### 【一般質問】



林下 孤芳 議員  
はやし た かずよし

### デマンドバスの対策について

**問** 山坂が多く少子高齢化が進む本市にとって、公共交通の役割は極めて大切です。専門の担当部局を設置し、オンデマンド交通システムの導入を含め、緊急に取り組んでほしいと思いますが、見解を伺います。

**答** 人口減少等で社会状況が変化する中、将来、交通環境の悪化が懸念されることから、専門に担当する部局の設置を引き続き検討したいと考えます。



ら、専門に担当する部局の設置を引き続き検討したいと考えます。

### 国勢調査の結果を受けて

**問** 22年国勢調査で本市の人口将来推計を上回り、減少が進んでいる結果を受け、どのような対策を考えていますか。

**答** 20歳代から30歳代前半にかけての減少が顕著となり、この年代の減少は出生数や税収、消費など様々な面で本市に与える影響が大きいことから、

### 「新しい公共」としてのNPO法人の役割

**問** 市が市民の多様なニーズに全て応えることは不可能ですが、NPO法人がその隙間を埋めることができれば現政権が掲げる「新しい公共」の理念がいかされると考えますが、見解を伺います。

**答** 新しい公共を支える担い手の一つとして期待されているNPO法人が、市民が有する多くの知識などを活用したまちづくりを進めることは、私が公約で掲げる市民力をいかしたまちづくりにも重要な役割を果たすものと考えています。

### 【主な質問項目】

- ▽屋外違反簡易広告物の取締りについて
- ▽都市の成長戦略プロジェクトの必要性
- ▽市営プールの設置目的を高齢者対策に
- ▽市内高卒者の就職内定状況について
- ▽農業・水産業の新規参入・後継者育成
- ▽障がいのある人の雇用について
- ▽学校に残るアスベストについて
- ▽観光客ダイレクトアクセス事業
- ▽共同墓の早期実現について
- ▽学校給食用の放射線量測定器の買入れ
- ▽教職員の会計検査院の指摘について
- ▽夜間急病センターと済生会病院
- ▽銭函保育所改築計画について
- ▽新病院建設費用と市民負担について
- ▽市立病院へのDPC導入について

# 一新小樽の主な質問

## 【代表質問】



ふきた たくお 議員  
吹田友三郎 議員

### 児童・生徒の学力向上について

**問** 学力が全国トップの秋田県では、教員同士の研修はもとより一般住民などが授業参観して教員の指導に意見を述べる事ができます。これらを役立てていることが教員の指導力向上に寄与していると考えられますが、本市では、今後どのように取り組むのか伺います。

**答** 実際の授業を基にした指導方法の改善など、教員の指導力向上に結び付く実践的な研修講座の実施や地域住民が授業参観できるような授業公開日を設けるよう、各学校に指導していきたく考えています。



### 認定こども園に関わって

**問** 認定こども園の制度は、0歳から2歳までの待機

## 一新小樽の主な質問

児解消が主な目的ですが、今回55名の定員で開設することに伴う市内の保育サービスの供給体制の現状と将来像を伺います。

**答** 本年4月に市立保育所などの定員見直しや乳児保育園の開設で3歳未満児の定員は増えたものの、入所待ちの児童が生じている現状です。今回、桂岡町に建設される認定こども園は、銭函地区における保育サービスの供給体制の拡大につながるものと考えます。

### 密告者の摘発と処分について

**問** 市職員により、議会での質問項目の情報が事前に密告されたことがありますか、誰が、なぜそのようなことを行ったのか、また、どのように処分されるのかについて伺います。

**答** 詳細は承知していませんが、通告前の質問事項につきましても、慎重に取り扱わなければならないものもあると思えますので、より適切に対応するよう指示していきたく考えます。

### 姉妹都市提携委員会について

**問** 提携委員会の業務で市職員が同行する際、市の交

付金を交付している委員会予算から旅費を支出しています。市職員の旅費は、市から支出すべきであり、この取扱いを改める考えはありませんか。

**答** 委員会が支出する旅費については、姉妹都市の訪問など委員会の事業実施に必要な経費を委員会予算から支出しているところであり、この取扱いを改めることは考えていません。

## 【一般質問】



なかむら いわお 議員  
中村 岩雄 議員

### MICE(国際会議等)の誘致について

**問** 本市と札幌市は、23年3月、MICE誘致に関する覚書を締結していますが、現在の取組と、今後期待できる効果について、市長の見解を伺います。

**答** 両市で、MICE受入れに活用できる施設や体験プログラム、視察コースなどの資料を作成し、誘致活動を展開したところ、韓国からの報奨旅行を誘致することができました。経済波及効果や観光開散期の誘客が期待されることから、引き続き連携して誘致に取り組んでいきたく考えています。

### 国際観光について

**問** これまで実施してきた外国人観光客誘致の取組や今後の予定について伺います。

**答** 中国のメディアなどを招へいしたほか、ソウル特別市江西区や台湾でトップセールスを行い、今後は、中国への訪問を考えています。12月21日から外国人観光客ダイレクタークセス実証実験事業が開始されますが、現在、受付、誘導などの最終確認を行っています。

### PEN食器ではなく磁器食器の使用を



あない てつや 議員  
安斎 哲也 議員

**問** 新共同調理場ではPEN食器の導入を検討しているとのことですが、壊れても再生可能なりサイクル強化磁器食器を導入する自治体があります。この食器の導入を検討できませんか。

**答** 各自治体では、食器の材質のほか、調理施設の形態など様々な観点から検討を行い、選定されているものと考えますが、PEN食器は強化磁器食器と比較しても割れにくく、経済的であることから、導入を検討しています。なお、PEN食器も使用後はトレーなどにリサイクルされています。



## 【主な質問項目】

- ▽職員倫理条例(原案)に対して
- ▽防災について
- ▽北海道横断道の小樽JCTについて
- ▽北海道新幹線について
- ▽配水管整備事業費について
- ▽職員給与条例の一部改正に関わって
- ▽放射能汚染粉ミルクについて
- ▽予防接種について
- ▽保育所の入所状況について
- ▽生活保護について
- ▽高島おばけを観光資源に
- ▽小樽運河浅草橋街園の活用方法
- ▽西陵中学校存続を求める陳情
- ▽資本費平準化債について
- ▽街路防犯灯について

※PEN食器…PEN(ポリエチレンナフタレート)樹脂を素材とした食器

## 第4回定例会 議案等の議決結果について

### 全会一致で可決、承認、同意、認定となったもの

区分	件名	議決結果
市長提出	平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算	公の施設の指定管理者の指定について(総合体育館)
	平成23年度介護保険事業特別会計補正予算	公の施設の指定管理者の指定について(さくら学園)
	平成23年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算	専決処分報告 (平成23年度一般会計補正予算 大雨による災害復旧費)
	平成23年度水道事業会計補正予算	専決処分報告 (平成23年度住宅事業特別会計補正予算 大雨による災害復旧費)
	職員給与条例の一部を改正する条例案	公平委員会委員の選任について(小笠原真結美氏)
	市議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例等 の一部を改正する条例案	職員懲戒審査委員会委員の任命について(山田雅敏氏)
	市営住宅条例の一部を改正する条例案	人権擁護委員候補者の推薦について (北潟谷仁氏、高橋房子氏、加藤孝憲氏)
	市立学校設置条例の一部を改正する条例案	公の施設の指定管理者の指定について(いなきた児童館)
	公の施設の指定管理者の指定について(塩谷児童センター)	平成22年度物品調達特別会計歳入歳出決算認定について

### 態度の分かれたもの

賛成 ○ 反対 ×

区分	件名	各会派の態度						採決結果
		自民	公明	共産	民主	一新	無所属	
市長提出	平成23年度一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	可決
	平成23年度病院事業会計補正予算	○	○	○	○	×	○	可決
	病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	○	○	×	○	○	○	可決
	過疎地域自立促進市町村計画の変更について	○	○	×	○	○	○	可決
	監査委員の選任について(佐々木茂氏)	○	○	×	○	棄権	○	同意
	平成22年度一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	×	○	認定
	平成22年度特別会計歳入歳出決算認定について (港湾整備事業、青果物卸売市場事業、水産物卸売市場事業、国民健康保険事業、土地取得事業、老人保健事業、住宅事業、簡易水道事業、介護保険事業、産業廃棄物処分事業、後期高齢者医療事業)	○	○	×	○	○	○	認定
	平成22年度企業会計決算認定について(病院事業、下水道事業)	○	○	×	○	×	○	認定
	平成22年度企業会計決算認定について(水道事業、産業廃棄物等処分事業)	○	○	×	○	○	○	認定
議員提出	非核港湾条例案	×	×	○	○	×	×	否決

(自民=自由民主党、公明=公明党、共産=日本共産党、民主=民主党・市民連合、一新=一新小樽)

## 意見書・決議

### 可決となったもの

- 北海道新幹線の建設促進を求める意見書
- 日本海海域におけるサクラマ入資源造成に関する意見書
- 原子力損害の賠償に関する意見書
- TPP交渉への参加表明を撤回するよう求める意見書
- 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書
- 選挙制度の見直しを求める意見書
- 円高から中小企業を守る対策を求める意見書
- 国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書
- 災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書
- 防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書
- 原子力発電などのエネルギー政策の見直しと自然エネルギーの推進を求める意見書
- UPZの範囲の拡大を求める意見書
- 子ども・子育て新システムによる保育制度改革に関する意見書
- 原子力発電所の安全対策に関する意見書

第4回定例会に出された意見書・決議は次のとおりです。可決された意見書については、関係機関へ提出いたしました。

### 否決となったもの

- 年金改悪に反対する意見書
- 後期高齢者医療の保険料値上げを行わないことを求める意見書
- 並行在来線の「経営分離」の強行をやめ運行方針の作成を求める意見書
- 介護保険料の負担増軽減などに関する意見書
- 泊原子力発電所1、2号機の再稼働反対とプルサーマル計画中止を求める意見書
- 原発を輸出する原子力協定の撤回を求める意見書

### 市議会を傍聴してみませんか

市議会は、本会議、委員会ともに、それぞれ本会議場、各委員会室の受付で住所、氏名、年齢を記入するだけで、どなたでも簡単に傍聴することができます。どうぞお気軽にお越しください。次回の定例会の日程が決まりましたら、市役所本館1階正面と小樽市ホームページに掲載します。

**陳情**

前定例会まで継続審査となっていた案件のうち、結論の出た陳情及び第4回定例会に提出された陳情の採決結果は次のとおりです。

**採択となったもの**

- 原発から出る放射能から子供を守るための対策の確立方について
- 西積丹沖の活断層確認調査に関する意見書提出方について

**継続審査となったもの**

- 新「小樽市内水泳プール」の早期建設方について（同名の陳情ほか6件）
- 国定公園「ニセコ・積丹・小樽海岸」の中心地区「オタモイ海岸」の早期整備方について
- 小樽市立西陵中学校の存続方について

**人事**

第4回定例会に提出された監査委員の選任、公平委員会委員の選任、職員懲戒審査委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦について、いずれも同意しました。

**監査委員**

佐々木 茂 氏（新任）

**公平委員会委員**

小笠原 眞結美氏（再任）

**職員懲戒審査委員会委員**

山田 雅 敏氏（新任）

**人権擁護委員候補者**

北瀧谷 仁 氏（再任）  
高橋 房子氏（再任）  
加藤 孝憲氏（新任）

**常任委員会視察報告**

市議会の各常任委員会では委員会活動の一環として、各種政策・まちづくりの参考とするため、隔年で先進都市の取組状況を視察しています。今年10月から11月にかけて次の都市を視察しました。



総務常任委員会（新潟市）



経済常任委員会（富山県）

総務常任委員会（10月31日～11月2日）	
石川県金沢市	学校教育金沢モデルについて
新潟県新潟市	防災カルテ、防災計画について
経済常任委員会（10月31日～11月2日）	
富山県	伏木富山港の現状と外航クルーズ（背後観光地）の取組について
京都府舞鶴市	京都舞鶴港の現状と外航クルーズ（背後観光地）の取組について
厚生常任委員会（10月31日～11月2日）	
滋賀県東近江市	視覚障がい者の音声コードについて
愛知県一宮市	病後児保育について
建設常任委員会（10月17日～19日）	
秋田県秋田市	公園整備について
秋田県横手市	住宅リフォーム補助事業について

平成23年12月1日付で、下記のとおり委員会の所属委員に変更がありました（変更となったのは 部分）。

**各常任委員会**

総務		厚生		建設	
委員長	前田 清貴(自)	委員長	中島 麗子(共)	委員長	高橋 克幸(公)
副委員長	秋元 智恵(公)	副委員長	吹田 友三郎(一)	副委員長	新谷 とし(共)
委員	成田 祐樹(一)	委員	川畑 正美(共)	委員	安斎 哲也(一)
〃	小貫 元(共)	〃	斉藤 陽一良(公)	〃	松田 優子(公)
〃	鈴木 喜明(自)	〃	斎藤 博行(民)	〃	山口 保(民)
〃	上野 智真(自)	〃	佐々木 茂(自)	〃	山田 雅敏(自)
〃	林下 孤芳(民)	〃	横田 久俊(自)	〃	(欠員)

※(自)自由民主党、(共)日本共産党、(公)公明党、(民)民主党・市民連合、(一)一新小樽

**議会運営委員会**

委員長	鈴木 喜明(自)
副委員長	濱本 進(自)
委員	秋元 智恵(公)
〃	千葉 美幸(公)
〃	吹田 友三郎(一)
〃	小貫 元(共)
〃	酒井 隆行(自)
〃	林下 孤芳(民)
〃	中島 麗子(共)

**特別委員会を閉会しました**

政治資金規正法違反問題に関する調査特別委員会は、昨年4月に執行された小樽市長選挙において、市職員が政治資金規正法違反により逮捕された事件を受け、その全容解明と再発防止を調査目的として昨年の第1回臨時会（5月23日）において設置されました。2回の意見を聞く会、8回の委員会開催を経て、「法令順守の徹底と政治倫理に関する決議(案)」の提出を決定し、調査を終了いたしました。

また、東日本大震災による市内経済への影響に関する調査特別委員会については、東日本大震災が市内経済に与えた影響についての調査を行い、その対策を議論することを目的として同臨時会において設置されました。堺町にぎわいづくり協議会等の団体と3回の懇談会、4回の委員会開催を経て、「東日本大震災により影響を受けた市内経済の回復と更なる活性化に向けた諸施策の実現を求める決議(案)」の提出を決定し、調査を終了いたしました。

なお、両委員会で提出が決定した決議(案)は、いずれも両委員長から議長に提出され、昨年の第4回定例会最終日の本会議において、全会一致で可決となりました。

**成田晃司議員 御逝去**

当市議会議員の成田晃司氏は、平成23年10月22日に66歳で御逝去されました。成田議員は、平成11年に初当選以来、市政の発展に御尽力いただき、平成23年5月からは監査委員を務められました。ここに謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りいたします。

■小樽市議会ホームページ 小樽市ホームページ <http://www.city.otaru.lg.jp/> の「市政情報・統計・計画」からアクセスしてください。

■議員の手作りによるインターネット議会中継 <http://otaru-shigikai.ddo.jp/>

■「おたる市議会だより」に対する御意見、御感想をお寄せください。

宛先 (〒047-8660)小樽市花園2丁目12番1号 小樽市議会事務局 TEL 22-2847 FAX 22-2315